

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 14 日 (2020.5.14)

【公開番号】特開 2020-48739 (P2020-48739A)

【公開日】令和 2 年 4 月 2 日 (2020.4.2)

【年通号数】公開・登録公報 2020-013

【出願番号】特願 2018-179718 (P2018-179718)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 21 日 (2020.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

進入可能状態と進入困難状態とに変化可能な可変手段と、

前記可変手段が進入可能状態となる特殊状態に制御可能な特殊状態制御手段と、

通常状態よりも前記特殊状態に制御される頻度が高い特別状態に制御可能な特別状態制御手段と、を備え、

前記特別状態は、第 1 特別状態と、該第 1 特別状態よりも有利な第 2 特別状態と、を含み、

前記第 1 特別状態は、所定条件が成立したことにもとづいて前記第 2 特別状態に移行する有利第 1 特別状態と、前記所定条件が成立したことにもとづいて前記第 2 特別状態に移行しない不利第 1 特別状態と、を含み、

前記有利第 1 特別状態に制御されているときと前記不利第 1 特別状態に制御されているときとで、共通の特別演出を実行可能な特別演出実行手段と、

特定状態に制御されていることを示唆する特殊演出を実行可能な特殊演出実行手段と、
をさらに備えた

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(A) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、進入可能状態と進入困難状態とに変化可能な可変手段と、前記可変手段が進入可能状態となる特殊状態に制御可能な特殊状態制御手段と、通常状態よりも前記特殊状態に制御される頻度が高い特別状態に制御可能な特別状態制御手段と、を備え、前記特別状態は、第 1 特別状態と、該第 1 特別状態よりも有利な第 2 特別状態と、を含み、前記第 1 特別状態は、所定条件が成立したことにもとづいて前記第 2 特別状態に移行する有利第 1 特別状態と、前記所定条件が成立したことにもとづいて前記第 2 特別状態に移行しない不利第 1 特別状態と、を含み、前記有利第 1 特別状態に制御されているときと前記不利第 1 特別状態に制御されているときとで、

共通の特別演出を実行可能な特別演出実行手段と、特定状態に制御されていることを示唆する特殊演出を実行可能な特殊演出実行手段と、をさらに備えたことを特徴とする。

(1) さらに、他の態様に係る遊技機は、進入可能状態と進入困難状態とに変化可能な可変装置（例えば、特殊可変入賞球装置 17）と、可変装置が進入可能状態となる特殊状態（例えば、小当り遊技状態）に制御可能な特殊状態制御手段と、通常状態よりも特殊状態に制御される頻度が高い特別状態（例えば、K T 状態）に制御可能な特別状態制御手段とを備え、特別状態は、第 1 特別状態（例えば、第 1 K T 状態）と該第 1 特別状態よりも有利な第 2 特別状態（例えば、第 2 K T 状態）とを含み、第 1 特別状態は、所定条件が成立したことにもとづいて第 2 特別状態に移行する有利第 1 特別状態（例えば、第 1 K T 状態 A）と、所定条件が成立したことにもとづいて第 2 特別状態に移行しない不利第 1 特別状態（例えば、第 1 K T 状態 B）とを含み、有利第 1 特別状態に制御されているときと不利第 1 特別状態に制御されているときとで、共通の特別演出（例えば、共通の背景画像 B を表示する背景演出）を実行可能な特別演出実行手段（例えば、演出制御用 CPU 120 がステップ S 0 0 1 I W S 0 6 0 を実行する部分）をさらに備えたことを特徴とする。

このような構成によれば、特別演出が実行されたときに、有利第 1 特別状態と不利第 1 特別状態とのいずれに制御されているか遊技者が推測困難となるため、遊技興趣を向上させることができる。